

令和4年度（2022年度）行政評価シート

令和4年7月29日

評価者	こどもみらい部長 藤林聖治
-----	---------------

○ 施策の概要

総合計画上の位置付け	分野	4-(4) 青少年育成	施策の方針	4-(4)-①青少年の育成・支援
目標とするまちの姿	青少年一人ひとりが多様な体験や活動を通じて、夢や希望を持って様々なことに挑戦し、多くの人々との関わりの中で地域を支えられるような大人に成長しています。地域に青少年が集うことのできる居場所や社会参画の機会・仕組みが整っています。			
主な取組	(1) 青少年の居場所づくり 多様な体験・活動や多くの人々との関わりを通じて、青少年が自立・参画・共生していく基礎を育むことができる居場所づくりを支援します。 (2) 地域の担い手となる青少年の育成 地域で青少年を育成する風土を醸成するとともに、将来の地域づくりの担い手となる青少年の育成を目指し、発達段階に応じた社会参画の機会を創出します。			

1 成果指標

成果指標①	放課後かまくらっ子に参加した中高生の数					出典	所管課調べ			
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	
令和元年8月31日	人	目標値	50	50	70	70	100	100		
30		実績値	未実施	9						
		達成率	—	18.0%						

成果指標②	放課後かまくらっ子の推進支援に参画した大学生の数					出典	所管課調べ			
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	
平成31年4月1日	人	目標値	160	200	200	230	230	250		
100		実績値	160	700						
		達成率	100.0%	350.0%						

成果指標③	居場所に関するアンケート調査において「居心地の良い場所があるか」との問いに対し「いいえ」と回答した割合					出典	所管課調べ			
初期値	単位	年次	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考	
令和2年度	%	目標値	5.0	5.0	4.0	4.0	3.0	3.0		
5.0		実績値	5.0	2.0						
		達成率	100.0%	40.0%						

2 投入コスト

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	24,276	29,981				
人件費	44,376	65,785				
総事業費	68,652	95,766				

3 担当部評価

(1)「施策の方針の成果指標」の達成状況等を踏まえた施策の達成状況の分析

こどもみらい部

指標①

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けたこともあり、中高生による放課後かまくらっ子への参画は、ジュニアリーダーズクラブによるプログラムの実施のみ(高校生1名)となったが、令和4年度に向けて、中高生が参画しやすい仕組み作りとして、「放課後かまくらっ子中高生サポーター活動実施要領の制定に係る要領」の制定を行い、中高生の放課後かまくらっ子への参画を促進し、社会参画の機会を整えた。

指標②

大学生による放課後かまくらっ子への参画は目標値に到達しており、本施策によって青少年の社会参画の機会・仕組み作り に一定の効果が得られている。

指標③

指標の対象者を新成人全員とし、施策の達成へ向けアンケート結果の分析を行っている。アンケート調査を継続し、青少年の居場所づくりに向けて、当事者のニーズや意見を分析していく。

(2)今後の方向性

こどもみらい部

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、制限のかかっていた子どもデイキャンプ、放課後かまくらっ子への参画等を実施、拡大していくことにより、青少年に多様な体験や活動の機会を提供し、地域を支える人材の育成にあたることで、成長した青少年が次代の地域づくりを担える風土を醸成していく。

二十歳のつどい対象者にみならず、市内在住、在学の中高生に対し、居場所に関するアンケート調査を実施し、青少年のニーズを把握することで、地域に青少年が集うことが出来る居場所の提供と、自分らしさや自己肯定感を持つことができる居場所づくりの更なる支援を行う。

(3)施策の方針にひもづく事務事業の評価結果

重点事業	整理番号	事業名	法定受託事務	事業費(千円)	人件費(千円)	総事業費(千円)	事業評価	貢献度	最終評価
	こども-26	育成事業		4,760	22,002	26,762	現状維持	A	現状維持
	こども-27	青少年会館管理運営事業		23,387	26,768	50,155	縮小	B	現状維持
	こども-28	放課後かまくらっ子推進事業		1,834	17,015	18,849	現状維持	A	現状維持

(4)貢献度に関する分析

こどもみらい部

育成事業は、子どもたこあげ大会や子どもデイキャンプ、成人のつどい実行員会による式典企画等の地域での活動を通して、多世代交流や青少年の健全育成に寄与している。

青少年会館管理運営事業は、新型コロナウイルスにより制限のかかっていた講座の再開や、青少年に関わる団体等への会議室等提供により、青少年の活動の活性化に寄与している。

放課後かまくらっ子推進事業は、青少年の育成・支援における一つの課題でもある居場所の形成に向けて、放課後かまくらっ子への参画として、大学生に加え、学生団体や中高生、ジュニアリーダーズクラブが参画できるよう事業の推進を図った。